

2019年度 予算

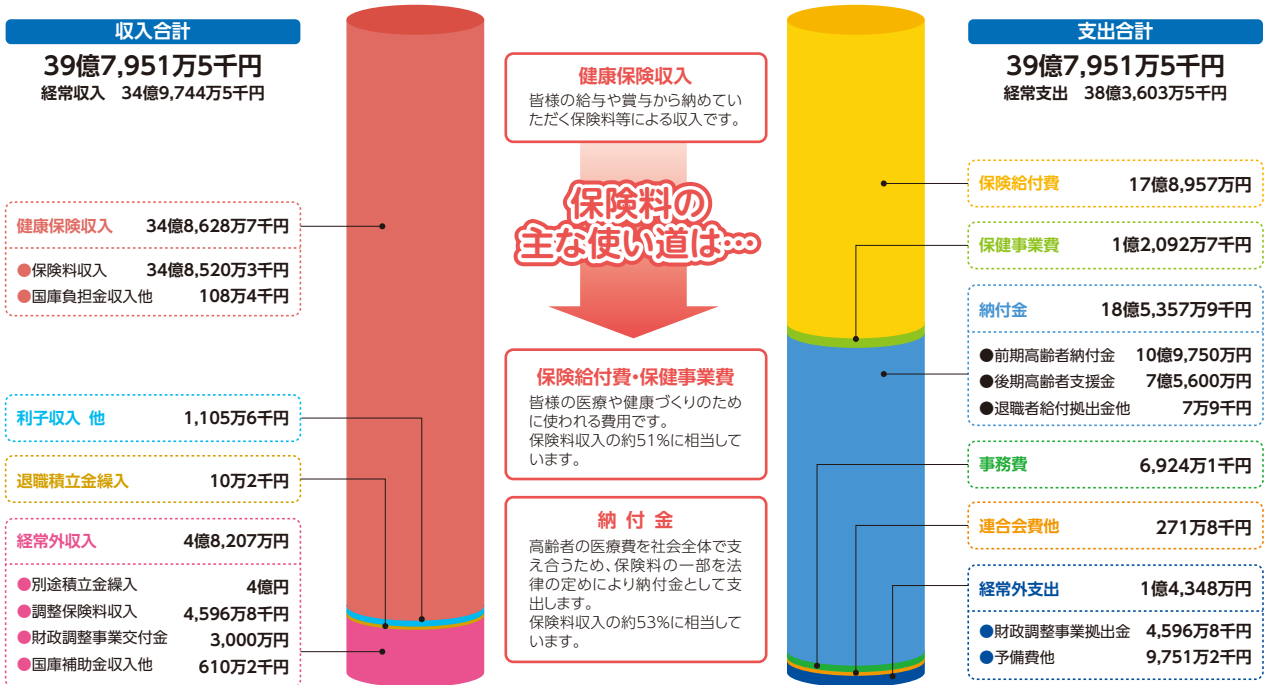
健康保険

納付金は減少するも
2018年度に引き続き経常収支は赤字の見込み

保険料率は前年度と同率(10%)としました。保険料算出の基礎となる平均標準報酬月額や標準賞与額の減少が見込まれるため、保険料収入は約8,000万円の減収となる見込みです。

支出では、医療費等に充てられる保険給付費が前年度より約5,200万円増の見込みで、納付金は、約1億2,400万円減が見込まれるものの、保険料収入の約53%を占めており健保財政を圧迫する大きな要因であることに変わりありません。保健事業費においては、皆様の健康づくりを支援するための事業の充実と効率化を図るため、1億2,000万円を計上しました。この結果、経常収支は約3億3,800万円の赤字になる見込みです。

皆様には引き続き健康の保持・増進に努めていただくとともに、ジェネリック医薬品の利用、必要のないはしご受診や休日・時間外受診を控えるなど、適正な受診を心掛け、医療費の削減にご協力をお願いいたします。



介護保険

介護納付金は前年度より約1,700万円減少の見込みで、介護保険料率は前年度と同率(1.64%)としました。保険料収入の不足分は積立金からの繰入れを行い、収支の均衡を図ります。

収入		支出	
介護保険収入	4億3,934万8千円	介護納付金	4億5,433万円
繰入金	2,000万円	介護保険料還付金	2万1千円
国庫補助金受入	1千円	予備費	500万円
雑収入	2千円	合計	4億5,935万1千円
合計	4億5,935万1千円		

快眠のカギは生活リズム



監修：大阪成蹊大学教育学部教授 岡田邦夫

睡眠の悩みを抱えている人が多くいます。とくに日勤と夜勤をくり返す2交代勤務の人は、睡眠不足などに悩まされがちです。心地よい眠りを得るためには、約24時間周期で変動する生体リズムを乱さないことが大切。そのカギとなるのは生活リズムです。

